

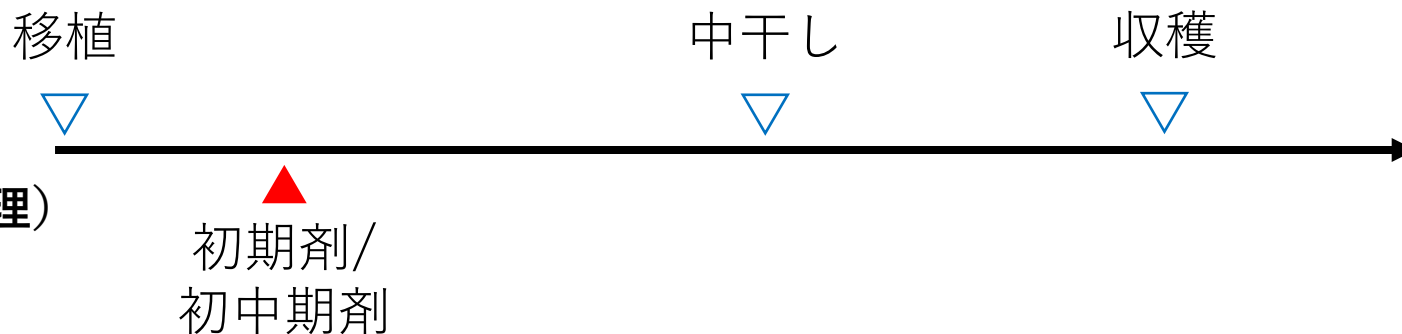


ナガエツルノゲイトウがまん延する現地圃場において14種類の処理を行い、防除効果を比較

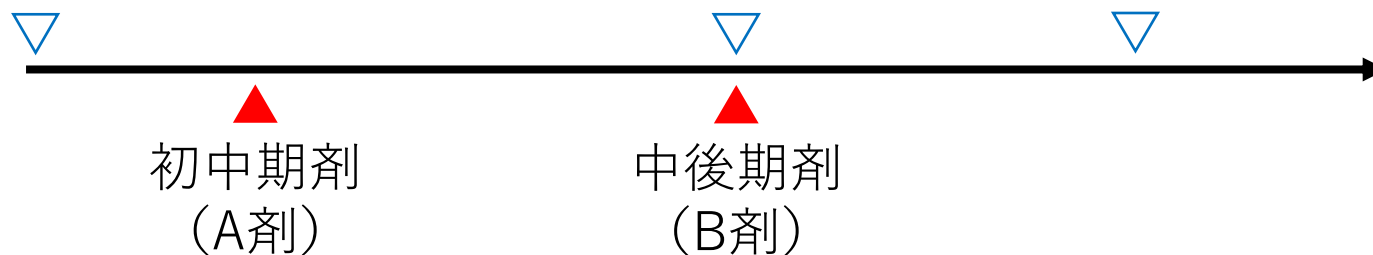
除草剤処理の内容

一般雑草 の防除

(除草剤1回処理)



地域慣行



供試体系

体系Ⅰ



体系Ⅱ



体系Ⅲ



* 供試した体系
のうち一部抜粋

除草効果一 1

無処理



除草剤1回処理
A剤



地域慣行
A剤→B剤

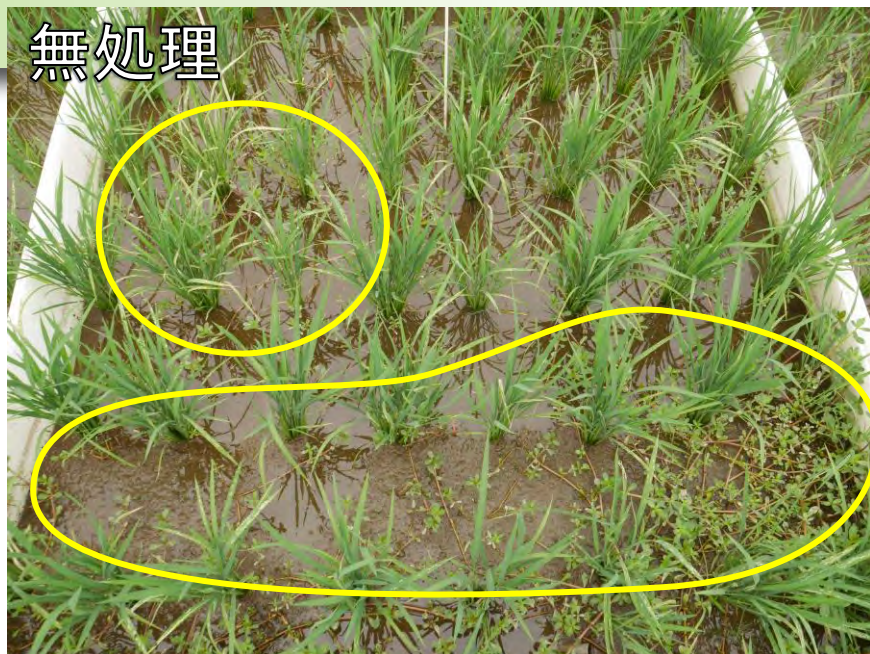


体系 I
A剤→C剤



撮影日：6月14日 (移植後48日)

除草効果－2



撮影日：6月7日（移植後41日）

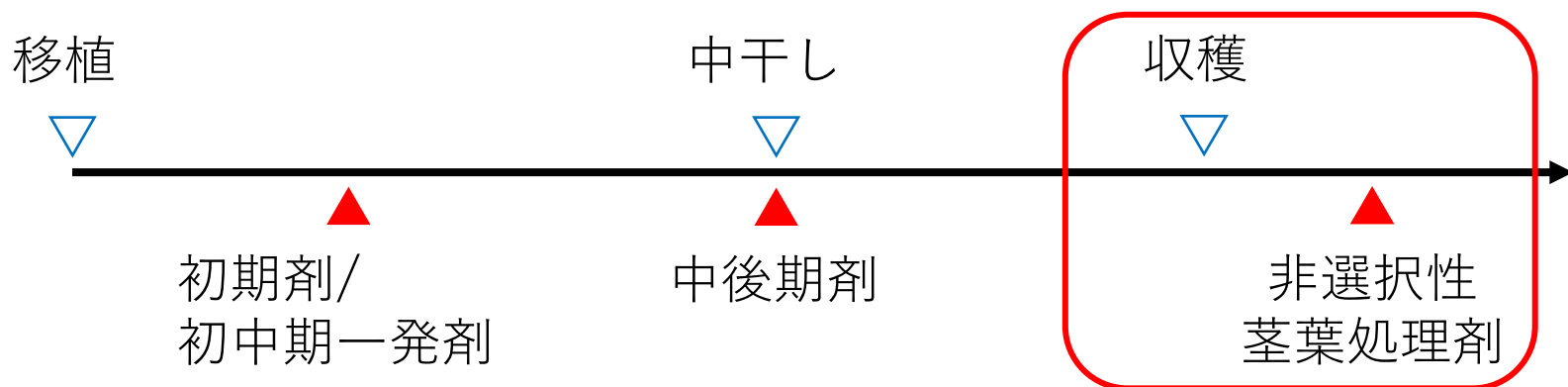
より有効な除草剤の成分や
その処理時期について試験中

水稻收穫後にも再生する

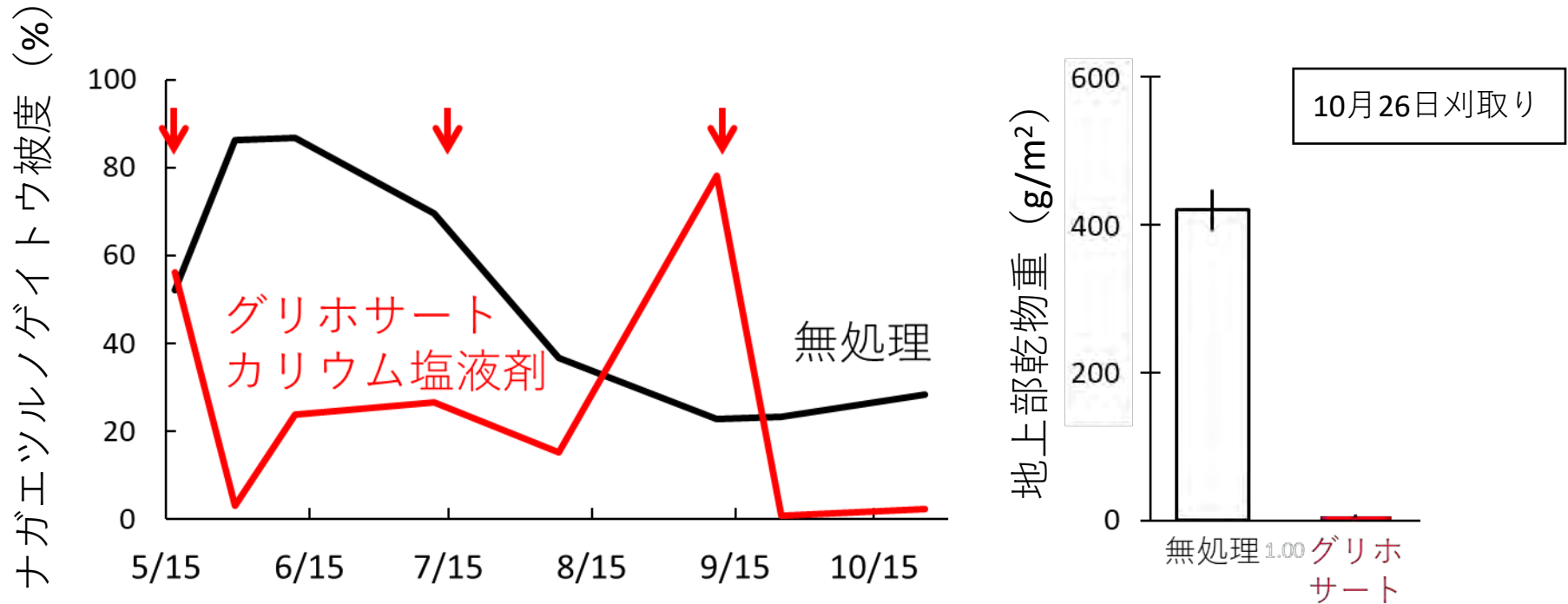


水稻收穫後の防除を含めた、総合的な防除体系の確立に向けた試験を実施中

ひこばえの間から再生する



除草剤による畦畔のナガエツルノゲイトウ防除



グリホサートでナガエツルノゲイトウの被度と地上部乾物重が低下

コスト・労力の観点から、より実効性の高い管理体系を検討中

- 本田・畦畔ともに、効果のある除草剤を適期に使用することでナガエツルノゲイトウを抑制することが可能
- 秋以降の管理を含む総合的な防除体系を確立するため、更なる研究が必要